

コベルコ建機

適用範囲		モデル名		SK10SR-3 後方小旋回	SK17SR-5 後方小旋回	SK20SR-5V 後方小旋回	SK20UR-6 超小旋回	SK28SR-6 後方小旋回
		適用号機		PA04-1000~	PU10-20000~	PM11-20000~	PB05-2201~	PD03-05001~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドリング	min ⁻¹	2160±25	2350±25	2570±25	2375±25	2570±25
		ローアイドリング (冷却水温) (作動油温)	min ⁻¹ (°C) (°C)	1250±25 60~90 (50±5)	1225±25 60~90 (50)	1200±25 60~90 (50)	1250±25 60~90 (50)	1450±25 60~90 (50)
	弁隙間	吸気弁隙間	mm	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05
		排気弁隙間	mm	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05
	(測定条件)	()	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)	
ン	燃料装置	圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差	MPa kg/cm ²	3.20 33	3.20 33	3.40 33	3.45±0.1 25	3.16±0.1 25
		(冷却水温) (回転速度)	(°C) (min ⁻¹)	60~90 250	60~90 250	60~90 250	60~90 250	60~90 250
	冷却装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	MPa kg/cm ²	12.3 125	13.7 140	19.6 200	19.6 200	—
		ファン駆動ベルトの張り	mm	8~10	8~10	8~10	8~10	8~10
		測定位置・条件 (kgとNの両方で表記)		ウォータポンプ クランクプーリ 10kg (98N)	ウォータポンプ クランクプーリ 10kg (98N)	ウォータポンプ クランクプーリ 10kg (98N)	ウォータポンプ クランクプーリ 10kg (98N)	ウォータポンプ クランクプーリ 10kg (98N)
	走行性能	最高速度 ゴム 鉄	S	13.7 クローラ5回転 高速モード 図-01	15.7 クローラ5回転 高速モード 図-01	18.8 クローラ5回転 高速モード 図-01	18.8 クローラ5回転 高速モード 図-01	18.8 クローラ5回転 高速モード 図-01
走行装置	履帯 (クローラ ベルト)	張り(たわみ量) 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	60~70	45~50	80~90	80~90	70~80
			mm	75~80	75~80	90~95	75~80	110~120
	鉄 シ ユ ー	リンクピッチの伸び 測定方法・ 条件	mm	—	90~95	115~130	115~130	105~130
			N・m kg・m	—	—	—	—	—

★印：新車基準値を表す。

SK30SR-6 後方小旋回	SK30UR-6 超小旋回	SK35SR-6 後方小旋回	SK38UR-6 超小旋回	SK45SR-6 後方小旋回	SK50UR-6E 超小旋回	SK55SR-6E 後方小旋回		
PW15-50001~	PR09-20001~	PX16-30001~	PQ03-01001~	PH08-10001~	YJ08-20001~	PS04-10001~		
検査基準値								
2570±25 1450±25 (60~90) (50)	2570±25 1450+25 (60~90) (50)	2570±25 1450±25 (60~90) (50)	2570±25 1450±25 (60~90) (50)	2590±25 1290±25 (60~90) (50)	2430±10 1150±10 (60~90) (50)	2430±10 1150±10 (60~90) (50)		
0.2±0.05 0.2±0.05 (冷態時)	0.2±0.05 0.2±0.05 (冷態時)	0.2±0.05 0.2±0.05 (冷態時)	0.2±0.05 0.2±0.05 (冷態時)	0.2±0.05 0.2±0.05 (冷態時)	0.2±0.05 0.2±0.05 (冷態時)	0.2±0.05 0.2±0.05 (冷態時)		
3.16±0.1 25 60~90 250	3.16±0.1 25 60~90 250	3.16±0.1 25 60~90 250	3.16±0.1 25 60~90 250	3.43±0.1 25 60~90 250	3.43±0.1 25 60~90 250	3.43±0.1 25 60~90 250		
—	—	—	—	—	—	—		
8~10 ウォータポンプ クランクプーリ 10kg (98N)	8~10 ウォータポンプ クランクプーリ 10kg (98N)	8~10 ウォータポンプ クランクプーリ 10kg (98N)	8~10 ウォータポンプ クランクプーリ 10kg (98N)	8~10 ウォータポンプ クランクプーリ 10kg (98N)	8~10 ウォータポンプ クランクプーリ 10kg (98N)	8~10 ウォータポンプ クランクプーリ 10kg (98N)		
18.9 19.3 クローラ5回転 高速モード 図-01	18.9 19.3 クローラ5回転 高速モード 図-01	18.9 19.3 クローラ5回転 高速モード 図-01	18.9 19.3 クローラ5回転 高速モード 図-01	21.9 20.5 クローラ5回転 高速モード 図-01	22.5 22.4 クローラ5回転 高速モード 図-01	23.5 21.9 クローラ5回転 高速モード 図-01		
70~80 図-02	70~80 図-02	70~80 図-02	70~80 図-02	80~90 図-02	80~90 図-02	80~90 図-02		
115~130 図-02	115~130 図-02	115~130 図-02	118~128 図-02	130~150 図-02	130~150 図-02	130~150 図-02		
105 1リンクピン 間距離	105 1リンクピン 間距離	105 1リンクピン 間距離	105.0 1リンクピン 間距離	135 1リンクピン 間距離	135 1リンクピン 間距離	135 1リンクピン 間距離		

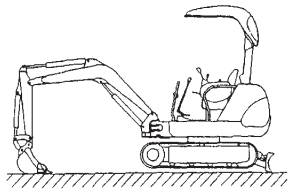
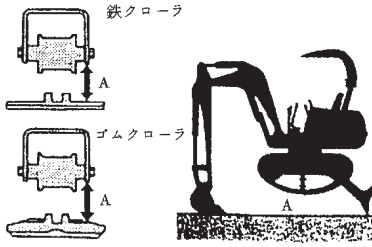
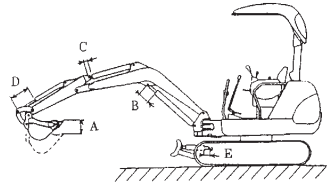
コベルコ建機

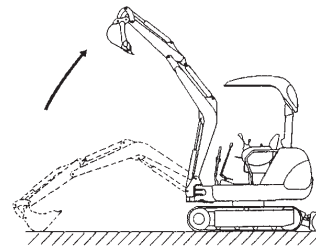
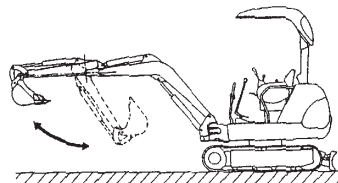
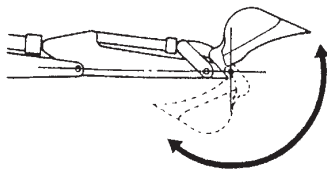
適用範囲		モデル名		SK10SR-3 後方小旋回	SK17SR-5 後方小旋回	SK20SR-5V 後方小旋回	SK20UR-6 超小旋回	SK28SR-6 後方小旋回
		適用号機		PA04-1000~	PU10-2000~	PM11-20000~	PB05-2201~	PD03-05001~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業	作業機 自然降下	バケット先端位置	mm	222	140	150	140	150
		(測定時間) (作動油温) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	(min) (°C)	18 50	10 50	12 50	12 50	12 50
	シリンダー 自然伸縮	ブームシリンダー 標準/クレーン 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm	18	10	12	12	12
		アームシリンダー 標準/クレーン 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm	12	7	5	5	5
		バケットシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm	4	4	4	4	4
置	作業機速度	ブーム上げ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	2.5±0.4	2.3±0.3	2.2±0.4	2.2±0.4	2.5±0.4
		アームシリンダー伸ばし 縮め	S	3.7±0.5 2.4±0.3	2.7±0.4 2.1±0.4	2.4±0.4 1.5±0.4	2.4±0.4 1.5±0.4	2.9±0.4 2.0±0.4
		バケットシリンダー伸ばし 縮め	S	2.5±0.4 1.8±0.3	2.7±0.4 1.8±0.4	2.4±0.4 1.4±0.4	2.8±0.4 1.9±0.4	2.8±0.4 1.9±0.4
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力	MPa	20.6	21.6	23.0	23.0	23.0
		性能測定条件 (設定モード等)	kg/cm ²	210	220	235	235	235
動力伝達装置	旋回ベアリング 取付けボルト の締付け	アウターレース取付け ボルトの締付けトルク	N・m	—	—	—	—	—
		インナーレース取付け ボルトの締付けトルク	kg・m	—	—	—	—	—
	旋回減速機の 取付けボルト 締付け	油圧モーター取付けボ ルトの締付けトルク	N・m	65.7	115.0	115.0	115.0	115.0
旋回減速機取付けボ ルトの締付けトルク		kg・m	6.7	11.7	11.7	11.7	11.7	

★印：新車基準値を表す。

SK30SR-6 後方小旋回	SK30UR-6 超小旋回	SK35SR-6 後方小旋回	SK38UR-6 超小旋回	SK45SR-6 後方小旋回	SK50UR-6E 超小旋回	SK55SR-6E 後方小旋回		
PW15-50001~	PR09-20001~	PX16-30001~	PQ03-01001~	PH08-10001~	YJ08-20001~	PS04-10001~		
検査基準値								
150	240	150	240	150	240	150		
10 50~60	10 50~60	10 50~60	10 50~60	10 50~60	10 50~60	10 50~60		
図-03	図-03	図-03	図-03	図-03	図-03	図-03		
14	14	24	14	14	14	10		
図-03 10	図-03 10	図-03 10	図-03 10	図-03 10	図-03 10	図-03 10		
図-03 6	図-03 8	図-03 6	図-03 6	図-03 6	図-03 6	図-03 6		
図-03 6	図-03 12	図-03 6	図-03 6	図-03 6	図-03 6	図-03 6		
図-03 50~60	図-03 50~60	図-03 50~60	図-03 50~60	図-03 50~60	図-03 50~60	図-03 50~60		
2.8±0.4	3.6±0.4	3.2±0.5	3.5±0.4	3.6±0.6	3.2±0.5	3.6±0.3		
図-04 3.1±0.4 1.9±0.4	図-04 3.8±0.4 4.1±0.4	図-04 3.7±0.4 2.6±0.4	図-04 3.8±0.4 4.1±0.4	図-04 3.6±0.4 2.1±0.4	図-04 4.2±0.4 4.4±0.4	図-04 3.6±0.4 2.1±0.4		
図-05 3.1±0.4 1.8±0.4	図-05 3.9±0.4 2.7±0.4	図-05 3.6±0.4 2.4±0.4	図-05 4.2±0.4 3.1±0.4	図-05 3.2±0.4 1.9±0.4	図-05 3.7±0.4 2.7±0.4	図-05 3.2±0.4 1.9±0.4		
図-06	図-06	図-06	図-06	図-06	図-06	図-06		
無負荷	無負荷	無負荷	無負荷	無負荷	無負荷	無負荷		
23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0		
235	235	235	235	235	235	235		
油温 50°C Eng・Hi ⁷ ボルト	油温 50°C Eng・Hi ⁷ ボルト	油温 50°C Eng・Hi ⁷ ボルト	油温 50°C Eng・Hi ⁷ ボルト	油温 50°C Eng・Hi ⁷ ボルト	油温 50°C Eng・Hi ⁷ ボルト	油温 50°C Eng・Hi ⁷ ボルト		
—	—	—	—	—	—	—		
114.7	114.7	114.7	114.7	114.7	114.7	114.7		
11.7	11.7	11.7	11.7	11.7	11.7	11.7		
115.0	115.0	115.0	115.0	115.0	216.6	216.6		
11.7	11.7	11.7	11.7	11.7	22.1	22.1		
—	—	—	—	—	—	—		

コベルコ建機

<p>走行速度 (5 回転)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンジン 定格回転 ・作動油温 50℃ ~ 60℃ ・測定姿勢 ホウアタッチメントとドーザを使用し、車体を持ち上げる。 ・クローラシュエを回転させ、2 回転目より数え、5 回転するまでに要する時間を測定する。(等速回転後の測定) 	 <p style="text-align: center;">図-01</p>
<p>クローラの張り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホウアタッチメントとドーザを使用し、車体を持ち上げる。 クローラフレーム中央部におけるフレーム下面とクローラシュエ上面とのすきまを測定する。 注) ゴムクローラの場合は、“M” マークの印された継目部を上部中央にして測定すること。 	 <p style="text-align: center;">図-02</p>
<p>シリンダ自然降下量 ブーム、アーム、バケット、ドーザ、バケット先端</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンジン 停止 ・作動油温 50℃ ~ 60℃ ・測定姿勢 ドーザ、アームシリンダは最縮小、バケットシリンダは最伸長とし、ブームフットピンとバケットピンの高さを同一にする。 ・測定姿勢を 10 分間保ち、その間に変化したロッドの長さ、及びバケット先端での変化量を測定する。 	 <p style="text-align: center;">図-03</p>

<p>ブームシリンダ速度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンジン 定格回転 ・作動油温 50℃ ~ 60℃ ・測定姿勢 アームシリンダを最縮小、バケットシリンダは最伸長とする。ドーザを設地させる。 ・バケットの設置位置 (最高上げ位置) から、最高上げ位置 (地上設置位置) までの所要時間を測定する。(クッション作動時間は含まない) 	 <p style="text-align: center;">図-04</p>
<p>アームシリンダ速度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンジン 定格回転 ・作動油温 50℃ ~ 60℃ ・測定姿勢 アームシリンダを最縮小、バケットシリンダは最伸長とし、アームを水平にする。ドーザを設地させる。 ・アームシリンダの最伸長時 (最縮小時) から最縮小時 (最伸長時) までの時間を測定する。 	 <p style="text-align: center;">図-05</p>
<p>バケットシリンダ速度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンジン 定格運転 ・作動油温 50℃ ~ 60℃ ・測定姿勢 アームシリンダを最縮小にしてアームを水平にする。ドーザを設地させる。 ・バケットシリンダの最伸長時 (最縮小時) から最縮小時 (最伸長時) までの時間を測定する。 	 <p style="text-align: center;">図-06</p>